



丹生川上神社 下社の拝殿（手前）と丹生山の本殿（奥）をつなぐ屋根付きの「階」――下市町長谷で



（住所）下市町長谷1の1
 （祭神）闇竈神
 （交通）近鉄下市口駅から笠木・洞川温泉行きバスで「長谷」
 （拝観）境内自由
 （駐車場）有り
 （電話）0747・58・0823
 下車すぐ

神前に供える台「三方」や割箸などの木工製品で有名な下市町。中心部から大峰山に向かう丹生川沿い（旧丹生村）に丹生川上神社。下社は鎮座しています。正式名は丹生川上神社で、上社（川上村）、中社（東吉野村）と区別するため「下社」を付けて呼ばれます。



社伝などによると、丹生川上神社は675年に

丹生川上神社下社（下市町）

和27年には上社、中社、下社が別々の宗教法人として独立しました。御祭神は闇竈神という谷間の水の神で、境内にはご神水「丹生の御食の井」があります。拝殿と、後方の丹生山の本殿との間は、屋根が付いた75段の「階」（約30段、傾斜約30度）です。丹生川から運び込まれ、奉納された産霊石には、安産などのご利益があるとされています。（奈良まほろばソムリエの会員 本井良明）

天武天皇により建立され、平安時代の「延喜式神名帳」に記載されました。室町時代後半から所在地が不明になりましたが、江戸時代に丹生大明神と呼ばれた現在の下社が有力地の一つに認められました。1952（昭

「階」75段、絵馬発祥の社

（奈良まほろばソムリエの会員 本井良明）